

令和4年度 芸術「美術I」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組～H組
教科書	高校生の美術1（日文）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4 5	・母校を描こう	・1点透視図法	・柏陵高校について知る	課題提出
			・1点透視図法を習得する	出席 取り組み
6 7		・アクリル画 ・下書き ・着彩	・1点透視図法で校舎内を描く	課題提出
			・明暗技法 ・補色の色彩理論	出席 取り組み
9 10	・夢に出てきそうな深海魚	・粘土による立体造形	・立体造形訓練	課題提出
			・粘土原型の完成	出席 取り組み
11 12		・鋳込み	・鋳込み	課題提出
			・仕上げ	出席 取り組み
1 2	パラパラアニメ	・4コマによる構想 ・描画	・4コママンガから7コマにする	課題提出
			・パラパラのページに展開 ・ペン入れ、仕上げ	出席 取り組み

3 評価の観点

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

次の3観点を記載の評価資料にもとづいてABCで評価します。

知識・技能 画材の取り扱い、課題作品、レポート等

思考・判断・表現 課題作品、レポート等

主体的に学習に取り組む態度 授業態度、持参物等

観点ABCの判断基準は以下の通りとなります。

A・・・十分満足できる (学習達成状況 100%~80%)

B・・・おおむね満足できる (学習達成状況 79%~30%)

C・・・努力を要する (学習達成状況 29%~0%)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

忘れ物をするとポイントが減ります。一生懸命取り組むとより楽しくなります。